

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年12月20日

### 対外セクター概況 - 2021年10月

#### 概要

2021年5月から前月比で減少している商品貿易赤字は、2021年10月は4.95億米ドルにさらに縮小。輸出収益は史上最高を記録、5か月連続で10億米ドルを上回った。こうした輸出収益改善により、外貨両替の増加と合わせ、国内外国為替市場への外貨流入の拡大が期待される。2021年10月の輸入支出は前年同比で増加。観光客数は前月から顕著に増加、成長の勢いが続いた。国外労働者からの送金はさらに緩やかとなった。政府証券市場及びコロンボ証券取引所（CSE）への外国投資はわずかな純流出を記録。一方、インターバンク市場の平均スポット為替レートは、1米ドル=201ルピー前後で推移。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 10月 100万米ドル	2021年 10月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~10月 100万米ドル	2021年 1~10月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	854	1,200	40.4	8,299	10,134	22.1
商品輸入	1,363	1,694	24.3	13,145	16,632	26.5
貿易収支	-509	-495		-4,846	-6,498	
観光収入	-	31	-	682	82	-88.0
国外労働者からの送金	631	317	-49.7	5,680	4,895	-13.8
CSEへの純流入	21	-7		-194	-222	
政府への総流入	251	0.01		1,814	2,135	
国債	1	0.01		103	16	
長期ローン	251	n.a.		1,712	2,118	
外国直接投資（総額）				351	398	
合計				-2,083	-3,261	

出典：スリランカ税関当局（SLC）、スリランカ観光開発委員会（SLTDA）、コロンボ証券取引所（CSE）、スリランカ投資委員会（BOI）、スリランカ中央銀行（CBSL）

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

**貿易収支：**貿易赤字は、前年同月の 5.09 億米ドルから 4.95 億米ドルに縮小、前月とほぼ同額。一方、2021 年 1～10 月累計の貿易赤字は前年同期の 48.46 億米ドルから 64.98 億米ドルに拡大。主な要因は図 1 のとおり。

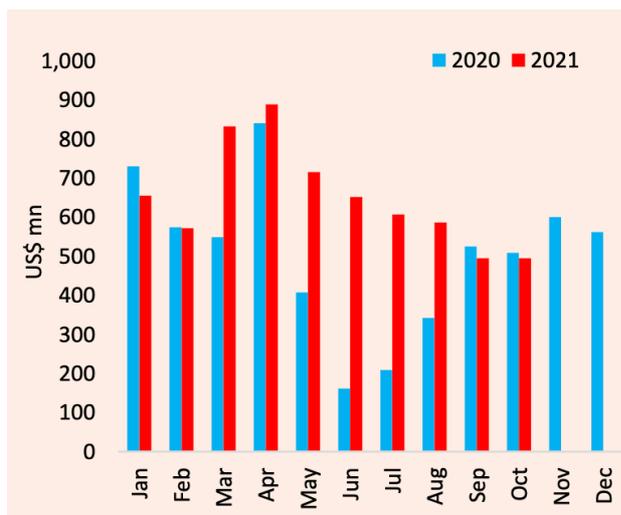
**貿易指標：**貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸出価格の上昇が輸入価格の上昇を上回り、前年同月比で 1.5%改善。

図 1：2021 年 1～10 月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



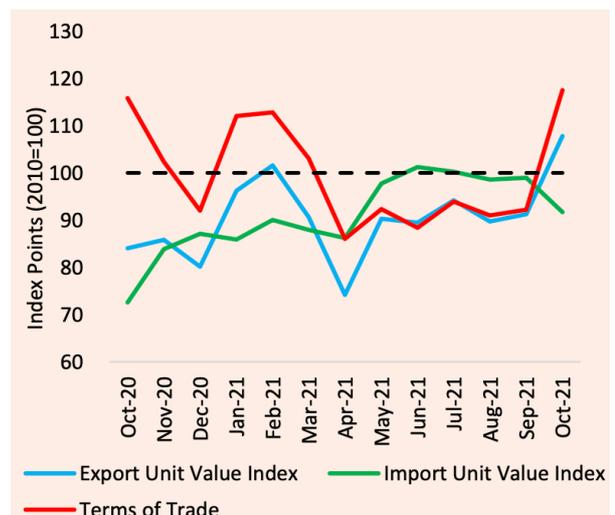
出典：SLC、CBSL

図 2：月別貿易赤字（2020～21 年）



出典：SLC、CBSL

図 3：貿易指標（2020～21 年）



出典：CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸出

**輸出全般：**2019年3月に記録したこれまでの最高額（11.37億米ドル）を上回り、2021年10月の輸出収益は前年同月比40.4%増の12.00億米ドルに達した。農業品輸出と工業製品輸出で増加が見られた一方、鉱物資源輸出はわずかに減少。2021年1～10月累計輸出収益は、前年同期の82.99億米ドルに対し、22.1%増の101.34億米ドルとなり、違いが歴然とした。

**工業製品輸出：**工業製品輸出収益は前年同月比49.3%増。繊維衣料品、食品・飲料・タバコ、輸送用機器、機械・機械器具、石油製品、ゴム製品など主要輸出品目が大幅な増加を記録した一方で、プラスチック関連品（主にプラスチック製衣料品）では収益が減少。繊維衣料品の輸出はすべての主要市場向けで増加。食品・飲料・タバコと機械・機械器具は全カテゴリーで増加し、輸送用機器は主に船舶2隻の輸出で増加した。石油製品輸出は、主に価格上昇を反映したバンカー燃料の輸出増加により収益が増加。ゴム製品では、タイヤと手袋が輸出額増加を牽引。

**農業品輸出：**農産品輸出収益は、主にスパイス、水産物、ココナッツ、小規模農産品の輸出増により、前年同月比14.3%増。しかし、紅茶の輸出収益は、輸出価格下落（7.3%減）により前年同月比2.4%減少。

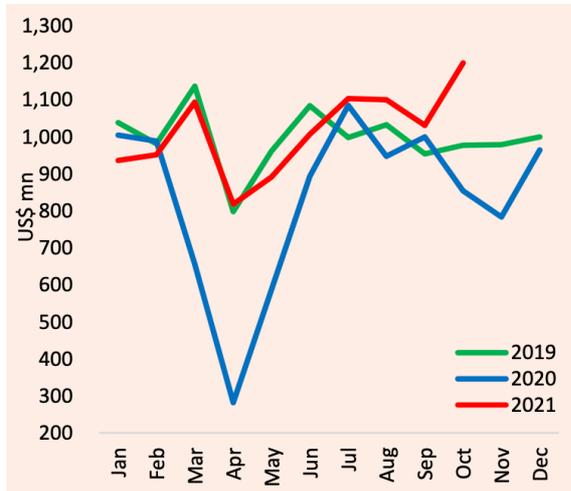
**鉱物資源輸出：**鉱物資源は土類、土石の収益が減少し、前年同月に比べてわずかに減少。

**輸出指標：**前年同月比で輸出量指数は9.5%増、単価指数は28.3%増。輸出量増加と価格上昇が合わさり、前年同月比での輸出収益が増加したことを示す。

【仮訳】

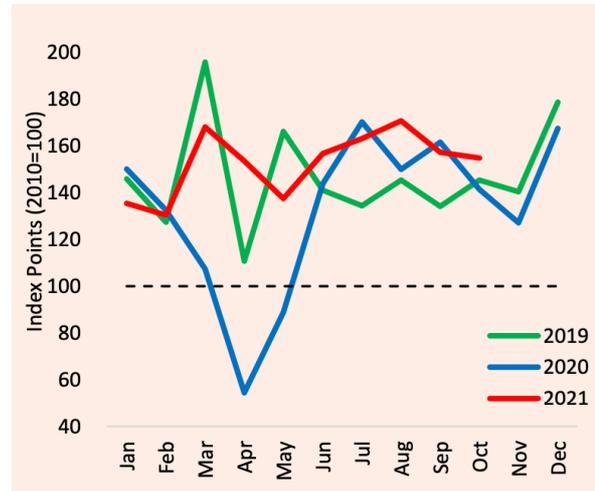
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



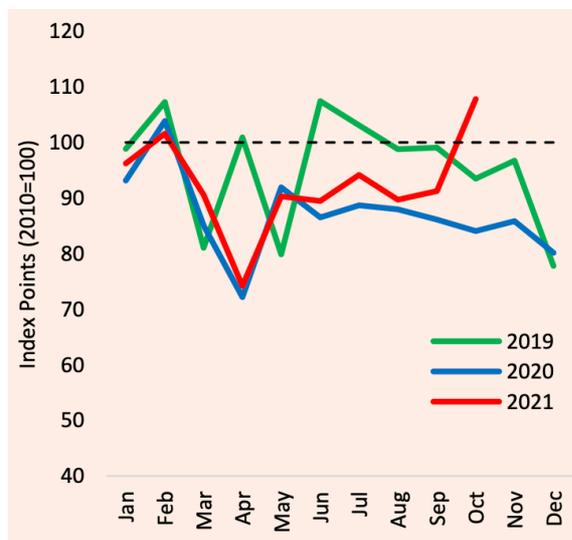
出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

図 6：月別輸出単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 10月 100万米ドル	2021年 10月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～10月 100万米ドル	2021年 1～10月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 工業製品輸出</b>	<b>639.1</b>	<b>954.0</b>	<b>49.3</b>	<b>6,319.1</b>	<b>7,853.0</b>	<b>24.3</b>
食品・飲料・タバコ	39.1	79.0	102.4	387.7	476.7	23.0
動物飼料	4.7	12.6	167.6	88.6	98.5	11.2
繊維衣料品	358.2	510.6	42.5	3,645.0	4,403.9	20.8
衣料品	325.7	467.0	43.4	3,245.4	4,011.3	23.6
生地	26.3	30.7	16.7	207.9	285.5	37.3
その他繊維衣料品	6.2	12.8	106.2	191.8	107.0	-44.2
ゴム製品	77.9	88.7	13.8	644.8	861.3	33.6
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	16.2	33.4	105.4	139.2	228.8	64.4
機械・機械器具	20.8	45.5	119.2	266.1	412.0	54.9
輸送用機器	4.2	43.2	918.2	58.7	126.5	115.5
石油製品	24.4	47.7	95.9	321.1	396.3	23.4
化学製品	16.0	19.1	19.2	139.7	182.0	30.3
木材・紙製品	8.1	12.9	59.4	82.5	105.6	28.0
印刷業製品	2.6	1.7	-36.4	38.9	41.8	7.4
皮革・旅行品・履物	3.0	5.2	73.3	47.0	44.5	-5.3
プラスチック関連品	42.6	7.0	-83.5	149.3	64.2	-57.0
ベースメタル関連品	5.8	13.5	132.7	90.4	124.8	38.1
セラミック製品	1.7	3.2	92.1	18.2	31.0	70.3
その他工業製品輸出	13.9	30.8	122.2	202.1	255.1	26.2
<b>2. 農産品輸出</b>	<b>211.4</b>	<b>241.6</b>	<b>14.3</b>	<b>1,949.9</b>	<b>2,228.3</b>	<b>14.3</b>
紅茶	112.2	109.5	-2.4	1,031.8	1,096.1	6.2
ゴム製品	2.4	3.2	33.5	22.3	35.6	59.8
ココナッツ	32.5	40.3	24.1	289.8	353.1	21.8
スパイス	33.6	44.9	33.6	266.7	364.5	36.7
野菜	4.4	2.4	-44.9	32.9	22.7	-31.0
非加工タバコ	2.0	1.8	-10.2	21.7	24.4	12.3
小規模農産品	8.7	15.0	71.9	119.8	119.4	-0.3
海産物	15.6	24.4	57.0	165.0	212.5	28.8
<b>3. 鉱物資源輸出</b>	<b>2.2</b>	<b>2.2</b>	<b>-0.4</b>	<b>18.1</b>	<b>36.0</b>	<b>98.5</b>
<b>4. 非分類品輸出</b>	<b>1.6</b>	<b>1.8</b>	<b>13.2</b>	<b>12.2</b>	<b>16.7</b>	<b>36.7</b>
<b>輸出合計</b>	<b>854.3</b>	<b>1,199.6</b>	<b>40.4</b>	<b>8,299.3</b>	<b>10,133.9</b>	<b>22.1</b>

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### 商品輸入

**輸入全般：**2021年10月の商品輸入支出は、前年同月の13.63億米ドルから24.3%増の16.94億米ドル。中間財と投資財が増加し、消費財が減少。2021年1～10月累計輸入収益は、前年同期の131.45億米ドルに対し、166.32億米ドル。

**消費財：**食品・飲料の減少が牽引し、前年同月比7.1%減少。非食品消費財は、主に衣料アクセサリーの増加により前年同月比5.6%増加。家電製品（主にラジオとテレビ）や通信機器などいくつかのカテゴリーも増加。一方、食品・飲料は、砂糖の輸入減により前年同月比で20.5%減少。油脂（主にココナッツオイル）、スパイス（主に唐辛子）、海産物（主に鮮魚）、果物で減少がみられた。また、乳製品（主に粉ミルク）、野菜（主にレンズ豆）、飲料（主にアルコール飲料）などの輸入が増加。

**中間財：**燃料、繊維および繊維製品（主に繊維生地と原糸）、小麦、ベースメタル、ゴム及び関連製品の増加が牽引し、前年同月比で38.6%増加。燃料は、輸入量は減少したものの、原油の輸入価格が前年同月比76.0%上昇（1バレルあたり41.77米ドル（2020年10月）から73.51米ドル（2021年10月）へ）し、前年同月比72.3%増。前年同月比で、石油精製品が88.1%、石炭が148.2%の増加。一方、肥料、未加工タバコ、金、鉱物製品の輸入は減少。

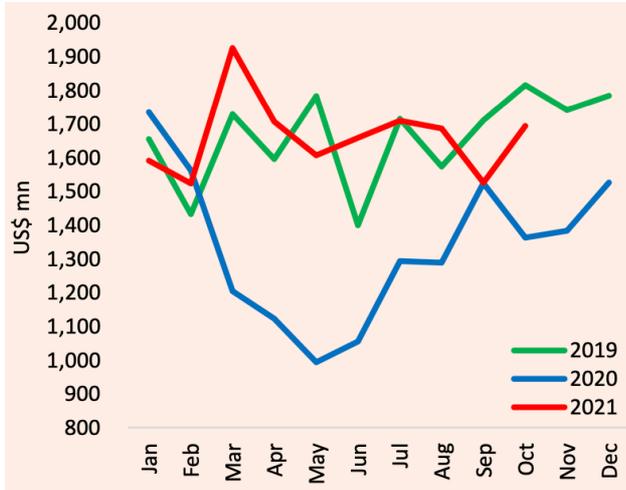
**投資財：**前年同月比で11.5%増加。機械設備（主に医療・検査機器、エンジニアリング機器、電子機器）、建設資材（主に鉄・鋼鉄）のカテゴリーで増加を記録。一方、輸送機器は、主に商用車の輸入減により減少。

**輸入指標：**前年同月比で輸入量指数は1.6%減、単価指数は26.4%増。前年同月比での輸入額増は主に価格の上昇の影響であることがわかる。

【仮訳】

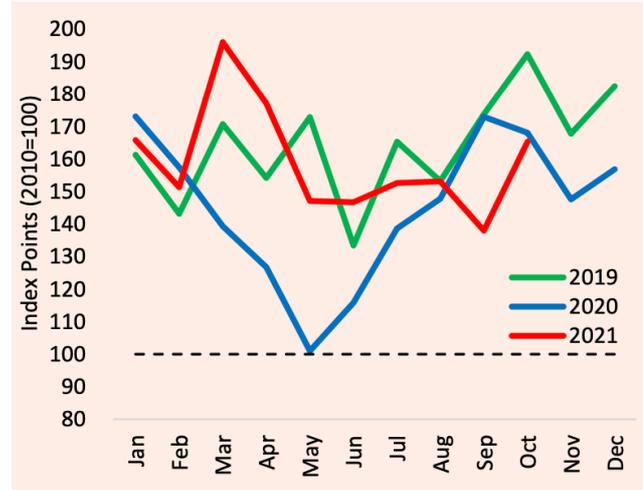
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 7：月別輸入実績



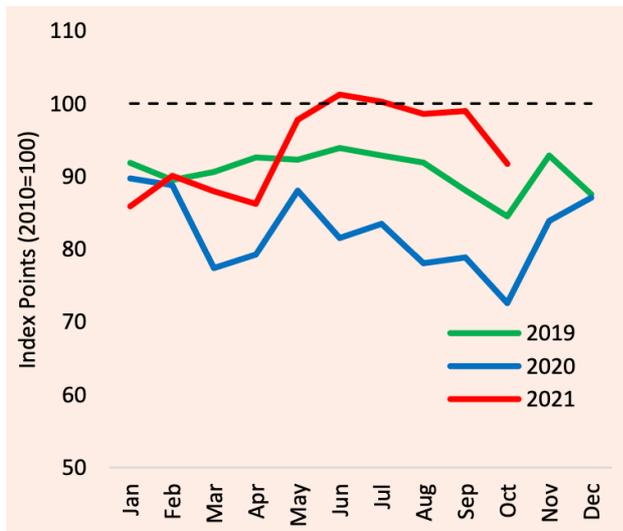
出典：SLC、CBSL

図 8：月別輸入量指標



出典：CBSL

図 9：月別輸入単価指標



出典：CBSL

【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 10月 100万米ドル	2021年 10月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~10月 100万米ドル	2021年 1~10月 100万米ドル	推移 (%)
<b>1. 消費財</b>	<b>251.6</b>	<b>233.6</b>	<b>-7.1</b>	<b>2,818.4</b>	<b>3,123.6</b>	<b>10.8</b>
食品・飲料	122.8	97.7	-20.5	1,271.7	1,359.4	6.9
穀類・精米製品	3.3	3.9	21.0	27.4	31.4	14.5
乳製品	20.3	22.9	12.9	273.3	293.6	7.4
野菜	17.6	18.9	7.3	280.1	321.5	14.8
海産物	11.5	10.7	-6.5	164.9	102.8	-37.7
砂糖・菓子類	32.8	10.2	-69.0	233.4	224.9	-3.6
スパイス	11.7	9.3	-20.1	106.0	107.8	1.7
その他食品・飲料	25.8	21.7	-15.7	186.6	277.5	48.7
非食品消費財	128.7	136.0	5.6	1,546.7	1,764.2	14.1
個人用車両	0.5	1.7	210.3	281.9	11.5	-95.9
医療・医薬品	51.9	48.7	-6.1	493.6	689.4	39.7
家電製品	16.8	18.6	10.7	134.2	213.4	59.0
衣類アクセサリ	12.8	19.8	54.8	165.9	176.6	6.5
通信機器	15.1	16.5	9.2	210.7	323.7	53.6
家庭用品・家具	13.5	13.4	-1.0	118.0	131.5	11.4
その他非食品消費財	18.1	17.3	-4.4	142.4	218.1	53.2
<b>2. 中間財</b>	<b>817.5</b>	<b>1,132.6</b>	<b>38.6</b>	<b>7,393.2</b>	<b>9,923.4</b>	<b>34.2</b>
燃料	223.4	385.0	72.3	2,128.6	2,981.8	40.1
うち 原油	28.0	48.9	74.7	479.2	565.3	18.0
精製石油	172.0	280.2	62.9	1,481.3	2,191.5	48.0
石炭	23.4	55.8	138.2	168.1	224.9	33.8
ダイヤモンド、貴石、貴金属	13.5	19.1	41.6	80.7	113.2	40.3
繊維及び繊維製品	218.1	265.8	21.9	1,883.6	2,471.7	31.2
紙及び板紙、関連製品	35.0	36.8	5.2	312.1	392.3	25.7
農業資材	14.2	18.1	27.0	161.8	222.9	37.7
小麦・トウモロコシ	24.1	70.0	190.8	314.1	361.4	15.1
ベースメタル	63.4	89.7	41.4	385.4	655.8	70.2
プラスチック及び関連品	51.8	53.1	2.6	440.3	623.9	41.7
化学製品	71.8	78.0	8.7	669.9	889.2	32.7
肥料	22.5	15.6	-30.7	161.5	120.0	-25.7
ゴム及び関連製品	17.4	32.8	88.6	182.7	323.4	77.0
鉱物製品	11.5	11.1	-3.2	143.5	125.9	-12.3
その他中間財	50.9	57.6	13.1	529.0	642.0	21.4
<b>3. 投資財</b>	<b>293.5</b>	<b>327.3</b>	<b>11.5</b>	<b>2,920.9</b>	<b>3,576.1</b>	<b>22.4</b>
機械設備	183.0	205.5	12.3	1,764.7	2,254.9	27.8
建設資材	87.5	103.7	18.5	852.2	1,004.1	17.8
輸送用機器	22.8	17.7	-22.1	301.3	312.4	3.7
その他投資財	0.2	0.4	61.4	2.6	4.7	78.7
<b>4. 非分類品輸入</b>	<b>0.2</b>	<b>0.7</b>	<b>262.9</b>	<b>12.4</b>	<b>8.7</b>	<b>-30.0</b>
輸入合計	1,362.8	1,694.3	24.3	13,145.0	16,631.8	26.5
うち 非燃料輸入	1,139.4	1,309.3	14.9	11,016.4	13,650.0	23.9

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

## 【仮訳】

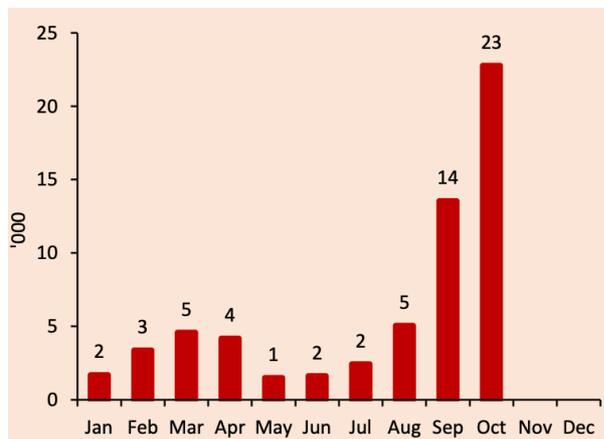
\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

### その他の主な経常収支への流入

2021年10月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は前年同月比で減少。2021年10月の送金額は、前年同月の6.31億米ドルに対し3.17億米ドル。2021年1～10月累計の送金額は、前年同期比13.8%減の48.95億米ドル。2021年10月の国外就労を目的とした出国者数は前月比28.2%増の15,733人を記録。主にスキルワーカー（5,464人）、非スキルワーカー（3,847人）、家事手伝い（3,820人）。2021年12月以降の外国送金増加の目標達成に向け、今後、出稼ぎ労働者からの送金が大幅に増加する可能性があることを示す。

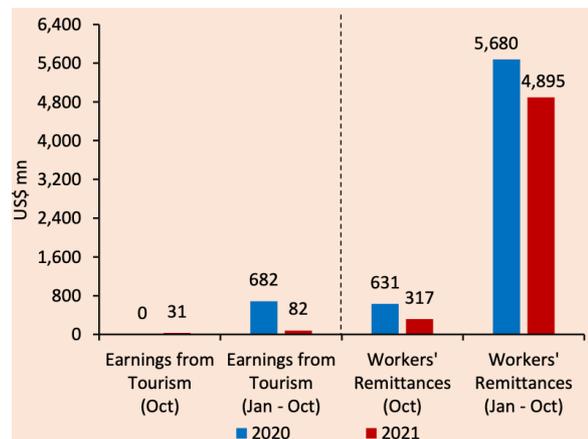
入国観光客数は、ここ数か月増加を続けている。2021年10月の観光客到着数は、前月の13,547人に対し22,771人。2021年1～10月累計の観光客数は60,695人、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、インド、イギリス、パキスタン、ロシア、ドイツ。2021年10月の推計観光収益は3,100万米ドル。2021年1～10月累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、8,200万米ドルと推定。

図 10：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図 11：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

## 【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

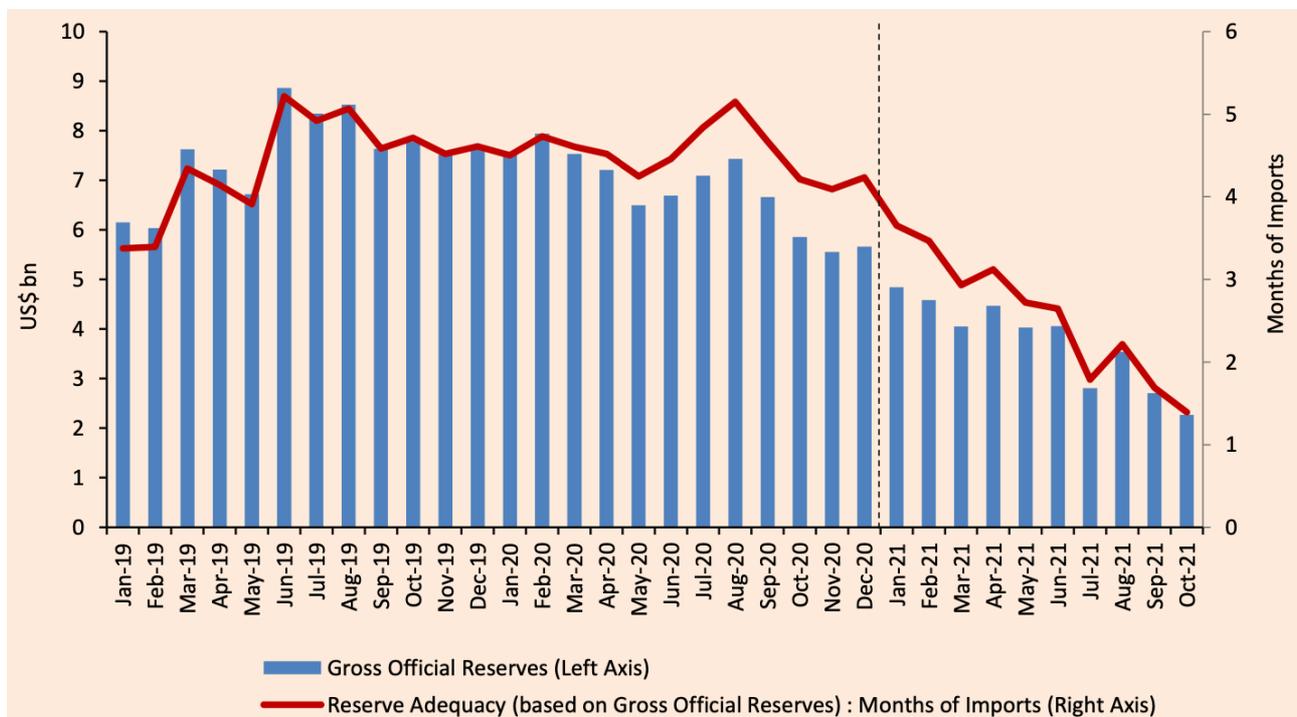
## 資金フロー

2021年10月の政府証券市場では、外国投資のわずかな純流出を記録。2021年1～10月累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,800万米ドルで、2021年10月末時点でのエクスポージャー総額は900万米ドルと低水準のままに。一方、2021年10月のコロンボ証券取引所（CSE）からの純流出額は700万米ドル、2021年1～10月累計では2.22億米ドルの純流出。

## 公的準備高

2021年10月末の総公的準備金は、23億米ドル。なお、上記の準備高には、中国人民銀行と中央銀行の間で締結された100億元（約15億米ドル）の3年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。総公的準備高と銀行セクター資産を合わせた総外国資産は、2021年10月末時点で56億米ドル。

図 12：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

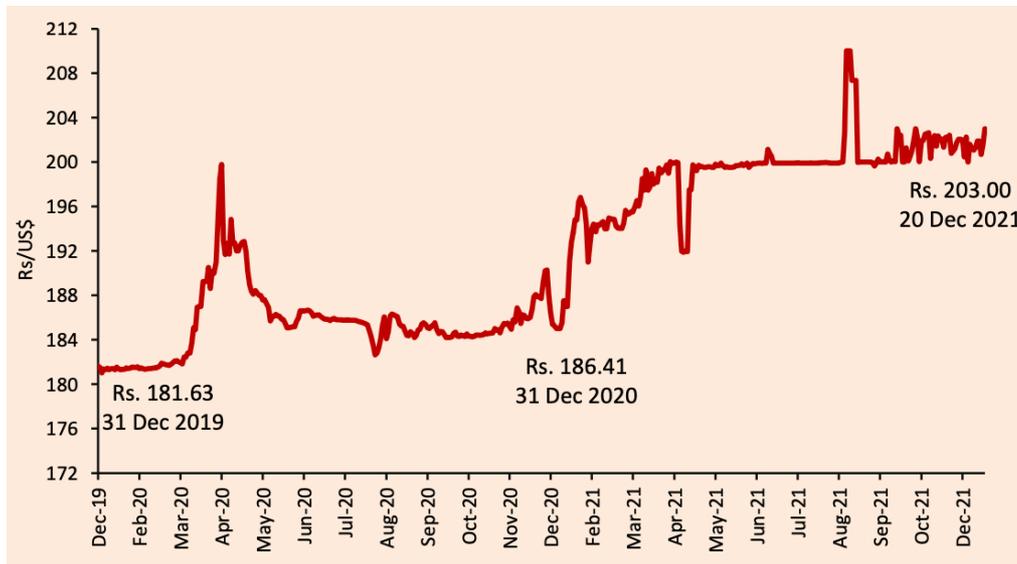
【仮訳】

\* あくまでも筆者作成の仮訳であり、  
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

2021年4月第1週以降、インターバンク市場における加重平均スポット為替レートは、2021年9月第1週を除き、1米ドルあたり200~203ルピーの範囲内で概ね安定的に推移。全体として、2021年12月20日までの1年間で、スリランカルピーは対米ドルで8.2%下落。クロス通貨の動きを反映し、2021年1月1日~12月20日までの間、スリランカルピーは、ユーロ、ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、日本円に対しては上昇。

図 13：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2019年	2020年	2021年10月 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)	2021年12月20日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	+0.6%	-2.6%	-0.9%	-8.2%
ユーロ	+2.6%	-11.2%	-1.5%	+0.5%
英ポンド	-2.8%	-6.2%	-3.4%	-5.2%
日本円	-1.0%	-7.5%	+0.6%	+1.2%
豪ドル	+1.3%	-11.4%	-5.4%	-0.6%
インドルピー	+2.6%	0.0%	-0.4%	-4.6%

出典：CBSL